

光綾公園再整備基本設計 概要

バラの公園として、豊かな緑の中で様々な世代がいきいきと活動できる綾瀬市のシンボルとなる交流空間づくり

観光資源を目指すバラ園の改修

- ・既存のバラ園を拡張し、効果的な配置によるフォトジェニックなバラ園にリニューアルします。
- ・市の花の普及を目指したバラの発信拠点として事業を展開します。

健康・スポーツ空間としての魅力向上

- ・多様な年代が参加できる多目的スポーツに対応した施設として多目的球場へ改修します。
- ・外周園路は四季を通じて多様な表情が楽しめる散策路として健康増進に寄与します。

子育て支援空間の充実

- ・公園南側は、密集した樹木を間伐し、見通しの良い空間を確保します。
- ・幼児から児童まで遊べる遊具の充実を図り、【海】【山】【川】をイメージしてストーリーを演出します。

災害時の拠点として機能確保

- ・広域避難場所としての機能に加え、車中泊や応急仮設住宅の建設等を想定し、広場や車両動線を確保します。
- ・災害時に活用するマンホールトイレやかまどベンチを配置します。

⑥ 災害対応型トイレ

- ・災害時でも使用できる構造のトイレを配置します。

③ 管理棟

- ・授乳室や売店の設置を検討します。

② 多目的球場

- ・老朽化した施設の改修とともに、スポーツ利用だけでなく、災害時の対応や多目的利用を想定します。
- ・イベント開催を想定し常設ステージの設置や出入り口の増設をすることで、多様な交流が生まれる広場を目指します。

④ 防災対応施設

- ・マンホールトイレやかまどの機能を有するベンチを配置します。

⑬⑭ 駐車場

- ・北側と南側それぞれのエリアに確保し、道路横断による危険性を低減します。

⑦ 修景水路・ジャブジャブ池

- ・【川】流れを活用して「触れる」「見る」「遊ぶ」空間の演出をします。

⑨ 子供用遊具広場

- ・【海】大型複合遊具「わんぱく丸」を中心に子どもたちが伸び伸びと遊べる空間を確保します。

① バラ園

テーマは「PEACE」

- ・各家庭にバラの文化を届ける発信拠点として「バラベスキャンプ」とします。
- ・英国のプライベートガーデンの雰囲気四季折々に楽しめるようバラ以外の草花も取り入れ、多面的な景観や細かく切り替わるシーン展開を工夫します。
- ・専門家によるガーデナーの育成とボランティア体制づくりを進め、効率的な維持管理を行います。

⑤ 入口芝生広場

- ・既存樹木の配置を考慮し、イベント空間として活用できるオープンスペースを確保します。
- ・緩やかな起伏とバラの群植の連続でバラ園へ導きます。

⑧ 幼児用遊具広場

- ・安全面に配慮した遊戯空間を確保します。

⑫ 災害対応型トイレ

- ・子ども用トイレを備える。

バラ園のゾーニングと景観イメージ

バックヤード 展望・四阿

バラのピスタ

1. ステップガーデン

2. ローズメドウ

3. ピースフルローズガーデン

4. ホワイトガーデン

5. カスケードガーデン

6. ウィンターガーデン

- ・公園の「顔」となる立体的な緑と花の造形／幾何学模様のパズルのように常緑の縁取りから季節ごとに色々な花と色が顔を出す。
- ・メイン園地への導入部：子供の時に遊んだ野原のような雰囲気／季節ごとに足元を覆う花々、背景には大きく伸びたバラが咲き乱れる
- ・バラの色と香りに包まれていつまでも見ていたいと思わせるフォトジェニックなバラ園を目指す／ガーデンチェアを数多く配置
- ・心を洗われるような白一色の世界。緑とのコントラスト／花のバージョンロード／木漏れ日のスポットライト
- ・既存の築山を活用してウエディングケーキのような多段地形。頂上から見下ろすと温かみのある赤やオレンジのバラの向こうにホワイトガーデンが見える。足元には小さな花たち
- ・常緑の多いグリーンの中を探検気分で行く／夏はギボウシの葉や花を楽しむ。グランドカバーローズでバラの川に

⑩ アスレチック遊具

- ・【山】長峰の森に連なる既存林を間伐し、明るい林床の斜面部に冒険遊び的空間を展開します。

※今後、実施設計を進める中で変更となる場合があります。